

一般社団法人日本医真菌学会 2024 年度第 2 回理事会議事録

日時：2025 年 2 月 20 日（木）18：00～20：15

場所：(株)春恒社会議室+オンライン開催（Zoom）

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9 階

出席：宮崎義継（理事長）

泉川公一、掛屋 弘、金子健彦、杉田 隆、原田和俊、福田知雄、榎村浩一、
矢口貴志、山岸由佳 以上理事 10 名

小川祐美、長尾美紀 以上監事 2 名

阿部雅広、加納 壘、清祐麻紀子、串間尚子、佐藤友隆、栃木直文、浜田幸宏、宮崎泰可、
森 毅彦、渡邊 哲 以上幹事 10 名

欠席：神田善伸（理事）、常深祐一郎（幹事）

議題：

（報告事項）

1. メール審議結果報告（宮崎理事長）

2024 年度第 1 回メール審議の結果を確認した。

2. 会員異動報告（原田総務理事）

2025 年 1 月 31 日時点の会員数の報告があった。合計で 928 名であり、前回より微増であった。

3. 各種委員会報告・議事

1) 編集委員会（杉田理事）

①2024 年 9 月～2025 年 1 月の投稿論文数は、MMJ が 20 編、真菌誌が 6 編であった。

②第 68 回総会・学術集会のシンポジウム演者ならびに学術賞・次世代研究者賞・特別功労賞
受賞者を対象に執筆依頼を行った。

③広告掲載の申し込みは現時点で 4 社であり、減少傾向にある。

④第 13 回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・シンポジウムに出席した。これについて、
生成 AI を活用した論文執筆など関心の高い講演があり、本学会の総会・学術集会でも取り上
げることが提案された。

⑤Top Reviewer Award、Highly Cited Review Award、Highly Cited Article Award の創設に
ついて提案された。方針について異論はなく、委員会で具体的に検討することとした。費用
が発生する場合は山岸財務理事と相談するものとした。

2) 用語委員会（矢口理事）

ICD-11 の和訳について確認を行ったこと、また日本医学会分科会用語委員会に出席したこと
が報告された。

3) 将来計画委員会（神田理事：欠席）

報告事項なし。

4) ガイドライン検討委員会（泉川理事）

① アスペルギルス症のガイドライン改訂版（仮称）作成委員会

泉川理事より、テーマ、総論、各論、CQ の内容、および執筆者が概ね決定しており、利益相
反委員会による COI 確認が終了次第、執筆依頼を行うことが報告された。

5) 支部会・関連学会委員会（渡邊幹事）

委員の選出状況について報告があった。

6) 疫学調査委員会（福田理事）

次回の皮膚真菌症疫学調査は2026年に行う予定であり、北海道から沖縄まで21施設より協力を得られることになった。現在は埼玉医科大学総合医療センターの倫理委員会にて審査中である。また、委員の選出状況について報告があった。

7) 教育委員会（佐藤幹事）

委員の選出状況について報告があった。また、第36回日本臨床微生物学会（2025年1月24日～26日）と共催シンポジウムを実施した。

8) 広報委員会（槇村理事）

前期理事会にてホームページを再構成することが決定しており、今後具体的に見積りなどを進める予定である。現在、各種委員会のページがないため、各委員会の沿革について、70周年記念誌で作成予定の内容を掲載することを検討している。

9) 専門医・認定師委員会（栃木幹事）

委員の選出状況について報告があった。4月の申請締め切り後に審査を行う予定である。

10) 規約検討委員会（金子理事）

報告事項なし。

11) 倫理委員会（長尾監事）

報告事項なし。

12) 利益相反委員会（金子理事）

ガイドライン作成に際してのCOIの確認作業を行う予定である。

13) バイオセーフティ委員会（阿部幹事）

2022年に発表したBSL分類に見直しが必要な部分があり、今後委員を選出し活動予定であることが報告された。

14) COVID-19 合併真菌症検討委員会（掛屋理事）

日本医学会連合より受託しているCOVID-19 合併真菌症に関する研究を引き続き行っていることが報告された。

4. 第68回総会報告（杉田理事）

第8回アジア・太平洋医真菌学会学術集会（APSM）と合同開催として、総会・学術集会を開催し、19カ国より610名の参加があったことが報告された。開催記録をMMJに掲載予定である。

5. 第69回総会、第70回総会、第71回総会準備状況報告

1) 第69回総会（山岸理事）

2025年10月3日（金）～4日（土）に、高知県立県民文化ホールにて開催予定である。

なお、宮崎理事長より、委員会は基本的に会期前日ではなく事前にWeb開催をお願いしているが、現地で開催の必要がある委員会は早めに申し出るようにし、山岸理事に必要に応じて会場の調整が依頼された。

2) 第70回総会（槇村理事）

2026年11月21日（土）～22日（日）に東京都八王子市内にて開催予定である。

3) 第71回総会（掛屋理事）

2027年に大阪府内で開催予定である。

6. 関連国際学会・会議に関する報告（杉田理事）

5月にISHAMがブラジルで開催予定であることが報告された。

7. ICD 制度協議会報告（宮崎幹事）

報告事項なし。

8. 内保連報告（森幹事）

報告事項なし。

9. 日本医学会・医学会連合報告（串間幹事）

報告事項なし。

10. 日本医学会連合女性医師支援担当者連絡会に関する報告（小川監事）

報告事項なし。

11. 日本微生物学連盟に関する報告（杉田理事）

報告事項なし。

12. その他

1) 日本医学会連合 第4回 Rising Star リトリート企画委員会（杉田理事）

2025年5月29日～30日に開催予定であり、企画委員の杉田理事を含む5名が参加予定であることが報告された。

（審議事項）

13. 新委員会の設立について（宮崎理事長）

以下の新委員会の設立および委員長の就任について提案され、異論なく承認された。続いて、各委員長に委員選出と具体的な活動の検討が依頼された。また、深在性真菌症の疫学調査については、疫学調査委員会の深在性部門として渡邊副委員長を中心に活動することとした。

Antifungal stewardship 推進委員会（仮称）	委員長：浜田幹事
検査委員会（仮称）	委員長：清祐幹事
研究戦略推進委員会	委員長：原田理事
ワンヘルス/人獣共通真菌症の推進委員会（仮称）	委員長：加納幹事

14. APSMM の新役員について（原田理事、杉田理事）

APSMM の次期事務局長に原田理事が就任することとなった。理事については各領域から数名ずつ、10名ほどを選出することとし、基礎領域は杉田理事、皮膚科領域は原田理事、内科領域は泉川理事に検討を依頼し、決定は原田 APSMM 事務局長に一任することが承認された。

15. 発酵研究所助成金による事業計画（杉田理事）

2024年4月に獲得した公益財団法人発酵研究所・研究助成金について、今後の事業計画について、以下の通り提案され、異論なく承認された。

1) 講演会の開催と論文執筆の助言

第1回タクソノミーフォーラム (MycoTaxo) 3月24日 東京国際フォーラム

第2回タクソノミーフォーラム (MycoTaxo) 8月に予定

2) 研究助成 50万円 x2件（予定）

3) 論文投稿補助 10万円 x5件（予定）

4) 皮膚真菌症指導者講習会への補助（資材）

5) 菌名対応表の MMJ への投稿

16. 研究費の受け入れ等について

1) 外部資金委員会（仮名）の設置について（原田理事）

議題 13 で審議した通り、研究戦略推進委員会として設立し、本委員会で企業等から受け入れた研究費について、透明性を確保したうえで資金配分するため、会員へのグラントの検討や採択の審査を行うことが提案された。なお、すでに受けている発酵研究所の研究助成金、佐藤製薬株式会社の寄付金についても、使用用途は本委員会で検討する。また、日本医学会の受託研究についても、新たに受託する際は本委員会と連携する。以上について審議した結果、異論なく承認された。

2) 皮膚真菌症講習会の共催について（榎村理事）

皮膚真菌症講習会に企業共催を受けることについて提案があり、ホームページで共催または後援を公募することとなった。また、次回以降は積極的に企業に声掛けをすることとした。

17. その他

1) アデスタン腔錠 300mg の供給停止手続きについて（宮崎理事長）

バイエル薬品株式会社より、「アデスタン腔錠 300mg」の供給停止について、本学会に対する意見伺いの連絡があった。関係する領域の会員にも意見を求め、代替供給が不可能である状況を鑑み、本学会としては供給の継続を希望する旨を意見書として提出することが提案され、異論なく承認された。

2) ガイドラインの概要の英文化について（掛屋理事）

希少深在性真菌症の診断・治療ガイドラインの Summary を英文化して MMJ に投稿することについて提案があり、異論なく承認された。英文校正費が発生するため、費用については、山岸財務理事と相談することとした。また、オーサーシップについてはガイドラインに関する担当役員にて検討する。

3) ガイドライン電子化の検討について

編集事務局（株式会社春恒社）より、ガイドライン電子化について説明があった。電子化により売り上げの増加も見込めることから、泉川ガイドライン検討委員会委員長、原田総務理事、山岸財務理事にて次回理事会までに方向性を検討することとした。

4) 代議員、理事選挙システムおよび会費決済方法の変更について

学会事務局（株式会社春恒社）より、会員マイページと代議員、理事選挙システムの導入、および会費決済方法の変更について説明があった。クレジットカード利用を含む会費決済については手数料が高額であるため見送ることとし、コンビニ支払いでの会費決済を用いて、これらを導入することが承認された。これにより、初年度は約 50 万円、年間費用が約 13 万円の増額となる見込みである。

5) メール配信料について

以前の理事会にて支部会・関連学会の情報を会員宛てにメール配信する場合は、支部会に 2,200 円を請求することとなったが、泉川理事より、一部の支部会には補助金を出しており、手続きが煩雑となっていると指摘があった。これは、事務局を委託している株式会社春恒社より、メール配信が年間 12 通を超えた場合、1 通あたり 2,200 円が本学会に請求されるためであるが、これについて見直しが必要と考え、配信回数の上限と費用について再検討することとした。

以上

2025 年 2 月 20 日

議事録作成人 宮崎義継
議事録署名人 小川祐美
長尾美紀